

会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

報告日：令和7年11月13日

名 称	令和7年度第4回次期総合計画審議会
日 時	令和7年11月12日（水）18時00分～19時30分
場 所	鹿沼市民情報センター 3階会議室
出 席 者	<p>【委員】</p> <p>別紙のとおり</p> <p>【事務局】</p> <p>市長、福田副市長、中村教育長、齋藤秘書室長、秋澤総合政策部長</p> <p>益子行政経営部長、関口市民部長、青木保健福祉部長、杉山こども未来部長</p> <p>竹澤経済部長、大場環境部長、柏崎都市建設部長、塙建築担当参事</p> <p>北島上下水道部長、柿沼会計管理者、若林消防長、佐藤教育次長、</p> <p>小太刀議会事務局長、湯沢危機管理監、湯澤選挙管理委員会事務局長兼監査委員事務局長</p> <p>総合政策課：佐藤課長、金子課長補佐、青木主査、佐藤主査、羽石主査、高木主任主事</p> <p>○ 開会（進行：佐藤課長）</p> <p>○ 会長あいさつ</p> <p>○ 市長あいさつ</p> <p>○ 議事</p> <p>「第9次鹿沼市総合計画の構成」について</p> <p>「総合計画策定にあたって <案>」について</p> <p>「鹿沼みらいビジョン（基本構想）<素案>」について</p> <p>「鹿沼2030プラン（基本計画）<骨子>」について</p> <p>○ 審議</p> <p><渡邊委員>かぬま市民活動サポーターズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本構想と基本計画で繋がりが切れてしまっているのでは。基本構想で表現された「市民が主役」が、基本計画においては感じ取れなくなっている。 ・また、基本計画のキーワード「ライフタウン」や「+（プラス）」など、基本構想における「市民が主役」や「協働・共創」、「市民自治」と距離があるように感じる。 ・基本計画においても、市民自らがまちづくりをしていく、市民が主役という点について表現することで、基本構想からの一貫性が保たれると思う。 ・資料4のP5に「キャンプ+（プラス）」とあるが、5年間の施策展開として、これで良いのかと率直に思う部分がある。現状は現状として。 ・基本構想は抽象的な表現になりがちかもしれないが、あえて具体的な言葉を使うべきと思う。一般的な言葉の羅列に見えてしまい、具体的な課題が見えてこない。 ・6つまちづくりのテーマとして記載されているのは理想ではあるが、市民にとって能動的な表現が使われると、基本計画で「市民が主役」の具体的な施策が見えてくるのではと思う。

会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

<中村委員>宇都宮大学

- ・前提として、総合計画は行政が行うことが主な内容になる。その行政の施策の根底に「市民が主役」という考えがあるという認識。
- ・事務局からも意見を。

<秋澤総合政策部長>

- ・総合計画は、3層構造であることを冒頭で説明した。
- ・総合計画策定では、課題と現状を踏まえた施策を展開することとなる。
- ・未来に向けたまちづくりには、夢や希望も含まれる。これまでの経緯を踏まえて、今後のまちの姿を表現したのが基本構想である。
- ・構想で示す目指すまちのすがた、6つのまちづくりのテーマを実現するための具体的な内容が基本計画である。
- ・本日示した骨子案では、現状と課題が表現されていなかったために、基本構想から基本計画への繋がりが見えずらかったのでは、と受け止めている。
- ・また、「キャンプ+（プラス）」については、現在の鹿沼市の特性を示したものではある。市の面積の約7割が山林であること、特に西北部においては、キャンプを含めたアウトドア施設、寺社仏閣、全国有数のゴルフ場など様々な観光資源がある。来訪者の目的が1つで完結せず、「プラスα」の資源を体験してもらうことを目指し、西北部を含めた振興策として「+（プラス）」と表現した。

<小林委員>鹿沼市自治会連合会

- ・地域には自治会員、非自治会員が混在しているが、総合計画は全ての市民を対象としていると認識している。
- ・自治会加入率の現状は70%程度、新興住宅地においては50%に満たない地域もある中で、自治会はコミュニティを維持しながら、市の施策と共に進行のために活動している。
- ・価値観の多様化が進んでおり、自治会加入が当たり前ではないことも理解しているが、地域コミュニティを維持していくには自治会は不可欠であり、総合計画に自治会への加入促進策も盛り込んで欲しい。

<松井市長>

- ・地域コミュニティの維持は、今後、より困難になる。
- ・総合計画全体の素案をまとめるうえで、「自治会」について、今回のご意見を踏まえて検討する。重要な指摘としてご意見をお預かりする。

<鈴木委員>鹿沼青年会議所

- ・観光振興策の参考として聞いてほしい。

会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

- ・青年会議所の活動で前日光を海外の人と歩いた。本当に鹿沼なのかと思えるほど、感銘を受けた。鹿沼には良いものがたくさんある。九州在住の方に市内のゴルフ場が知られている。
- ・ただし、東京からのアクセスは良いが、その後の2次交通や山中の通信環境など、観光地としては課題がある。
- ・最も大きな課題は、お土産が少ないこと。企業の商品開発を促進するという施策を含めてほしい。

<宇賀神委員>建設業協会鹿沼支部

- ・独身者の流出抑止や転入促進の部分が抜けている。鹿沼に来てもらい、良いところを知つてもらわなければ、定住に至らない。
- ・若い人に定住してもらう、未結者の引き留め策を記載してほしい。

<岡田委員>鹿沼市PTA連絡協議会

- ・骨子としてはよくできていると思う。
- ・第5回の会議で審議会委員それぞれの専門性が活かされる時を感じている。

<上澤委員>鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会

- ・様々な重点施策があるが、それぞれのイメージが難しい。
- ・資料4のP9、夏場でもこどもたちが快適でいられる環境とは何か。
- ・資料4のP11、へき地診療については、医師不足という現状から実現のハードルが高いのでは。また、訪問診療は在宅医療の一つであることから、在宅医療の拡充など、大枠の言葉を用いるべき。
- ・資料4の12P、敬老会事業は衰退の一途を辿っている地域がある。「拡充」はハードルが高いのでは。
- ・全体的にハードルが高いと取れる施策をどう展開していくかが知りたい。

<秋澤総合政策部長>

- ・夏場でも快適な環境については、現状、具体的な施策はないが、必要性は認識しており、今後整備していくことを表現したものである。なお、本年から来年度にかけて、市内全小中学校の体育館にエアコンを整備する。
- ・県西地域の医師不足は課題である。県も同じ認識で対策に動き出しており、へき地診療を含めて、課題に対応していきたい。訪問診療から在宅医療という変更については、貴重なご意見として受け止め検討する。
- ・敬老会事業の停滞については、市内各地での未来ミーティングでも同様の指摘があった。敬老会を含めた高齢者向けの施策の見直しを進めており、表現も検討させていただく。

会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

<中村委員>宇都宮大学

- ・総括を含めた個人的な意見を述べる。
- ・自然、文化、人などの言葉を用いて、みんなが住みたくなるまちを表現しており、非常に市長の思いが詰まった計画であると認識した。
- ・本計画を3つの「○○感」という表現にあてはめた。
- ・まずは「手作り感」。本計画の特長の一つで、魅せ方はプロのコンサルの方が優れていると思われるが、手作りのメリットは策定後に現れると思われる。各施策の捉え方やアプローチ変わるのである。
- ・二つ目は「前向き感」。この困難な時代において重要なこと。行政だけではなく委員側の意見においても根本に前向きな意見が多い。
- ・三つ目は「担い手感」。総合計画は行政の約束集であるが、実現するためには協働共創、様々な団体や企業、交流人口としての外部の人材などと取り組まなければならない。その中で、委員と行政、双方に「担い手感」があることに感銘を受けた。
- ・今後について、一つだけ述べたい。
- ・次回、素案の中で数値目標や指標が示されることになると思うが、それらは単独で成り立つものと思われがちであるが、実際は、数値同士が絡みあっている。
- ・また、これから時代、AI、DX等の影響で変化速度が上がる。それらに対応していくためにも、目標値は高めに設定してほしい。
- ・これまで一般的には、目標が未達成だった場合、批判的な傾向があり、そのため、行政側も無難な、達成が容易な目標設定になりがちであった。
- ・現在はそうではない。あえて高めの目標設定をしたうえで、達成できなかったときは、その分析、対策・改善することが求められる。
- ・次回の審議会では、具体的な目標値も示されることと思うが、ぜひ、あえて高めの設定にしてほしい。

○ まとめ

<松井市長>

- ・各委員から、様々な角度から意見頂いた。
- ・中村会長からは、「目標値の設定を高めに」とご意見をいたいたいたが、私も同意見である。あくまでも10年後の鹿沼の理想を追い求めていきたいとの思いがある。前向きな考え方のもと、市の計画が策定されなければ、市民の思いも前向きにすることは不可能。
- ・この10年をチャレンジと捉えている。仮に、設定した目標に達しなかったとしても、チャレンジの足跡は残る。
- ・市民が主役の鹿沼をつくるは、自身のメインテーマである。変化の激しい時代において、まちづくりの主人公は様々で良いと思うが、その中心に市民がいるということを示したい。
- ・最後の第5回審議会で示す素案のたたき台はとても重要である。今後、パブリックコメント

会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

	<p>なども踏まえて策定していくが、市としても妥協せず案を練っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の審議会において、事前にご意見をいただいたうえで、まとめていきたい。 ・また、総合計画は議決案件である。3月議会においては市議会においても理解を得られるよう努める。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回は1月30日（金）14時から鹿沼市役所 4階大会議室で開催。 <p>4 閉会</p>		
配布資料	<p>資料1 「第9次鹿沼市総合計画の構成」について</p> <p>資料2 「総合計画策定にあたって <案>」について</p> <p>資料3 「鹿沼みらいビジョン（基本構想）<素案>」について</p> <p>資料4 「鹿沼2030プラン（基本計画）<骨子>」について</p>		
記録者	総合政策課 高木		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	(公開の場合) 傍聴人数	0人